

資料②

つなぐ		音楽	美術	保健体育	技家
1	基本的な意見を机間指導で拾い、指名などして発表させ、考えが持っていない生徒の支援にする。	・パート練習などで、技能的に優れた生徒を発表させ、(意図的に)周囲の模範とする。	・発表した生徒の意見で共感できたものを挙手、メモするようにさせる。 ・意見について、自分の考え(どう思う?)を聞く。	・技能用語から、どのような運動に取り組むか考えさせる。 ・技能的に優れた生徒を発表させ、周囲の模範とする。	・アイデアが欲しい人は、自由に席を移動して、見に行き、ヒントを得る。 ・パソコン使用などのオンラインで一人一人の意見を全員がリアルタイムに見られるようする。(技術)
2	生徒に発言を促して、それについて他の生徒の意見を聞く。	・鑑賞の授業で出た意見と同じ考えの生徒に挙手をさせる。さらに付け足しや言い換えはないか聞く。 ・出された意見を分類し、さらに分類した意見を求める。	・なるほどと思ったら挙手させて、確認する。 ・「この意見どう思う?」と問い返す。	・技能における部分練習を反復させる。 ・模範を見た後、優れたポイントを他の生徒に発表させる。	・意見をホワイトボードに記入し、貼る。 ・Googleのネットワーク共有スライドショーソフトで全員の進行状況を見ながら作らせる。
3	どこでつまづいているのかを見取り、つまづきを紹介するなどして、他の生徒から改善に向けての意見を引き出す。	・教師が良い例と悪い例を提示して、自分たちの演奏を客観的にとらえることで、どうしたらよいか、改善に向けて考えを見出す。	・個の改善に向け、さらに〇〇を直せばよくなるなどアドバイス ・グループやペアで話させ、アドバイスを考えさせる。	・いろいろな生徒の技能のつまづきを取り上げて、他の生徒から改善ポイントを引き出す。 ・全体練習につなげ、より効果的な体の使い方などを知り、取り組むようにする。 ・チェックシート、タブレット端末の活用	・実物投影機で見せ、意見を集める(どうしたらいいか) ・他のクラスであった失敗例も紹介する。

広げる		音楽	美術	保健体育	技家
4	生徒の発言を他の生徒に言い換えさせる。	・友達考えに基づいて、どう演奏したのか発表させる。	・意見が同じは挙手させ、確認する。	・個人的に身に付けた技能がグループの中でどのような場面で使えるかを考えさせる。 ・複数の生徒にポイント別に模範させる。	・もう一度他の生徒に質問し、発表させる。 ・パソコン使用で個人の意見に意見に対して「コメント」機能でアドバイスや質問を行うようにする。(技術)
5	考える視点を示して、意見交換させたり、全体へ問い返したりする。	・楽曲の構造について、本当にそうなのか確かめるために、繰り返し鑑賞させて、ペアやグループで確認する。	・生徒の意見など聞き、その意見について他の意見や感想を言わせた。友達考え意見を聞いて、意見の多様性を感じさせる。(友達考えに対し、自分の意見を言わせる)	・身に付けた技能をグループで話したり、タブレット端末やボードなどを活用し、より多く使える場面を考えて実践できるようにする。 ・さらなる技術向上を目指して、技能のポイントを見つける。	・良い作品を提示し、どこが良いのかペアなどで話し合う。 ・プロジェクターに提示し、全体で考え合うようにする。
6	いくつかの意見について、共通点・相違点に意識させながら、全体で考えさせる。	・出された考えを教師の範奏によって、再度提示し、全体で視奏させる。 ・グループで出た意見を掲示し、共通点や相違点を考えさせる。	・他の意見で、良い点や自分との相違点を発表させたりする。	・模範実技を行わせて、共有する。そのあとに良い点などを言わせる。 ・既習事項を基に、本時でも活用できる点を考えさせる。	・ホワイトボードに書いた意見を(各班)、生徒に分けさせる。
7	根拠が乏しい発表については、根拠が見つからないか、全体に問いつける。	・言い換えると分かりやすくなることはないか全体に問う。 ・考える視点を明確に示し、自分なりの言葉で述べるように助言する。 ・問い返しを行うことによって、考えを深めるようにする。	・具体的な根拠を本人が言えないとき、全体に色や形から分かることなど、根拠を言わせる。	・どうしたらうまく試技できるかを全体で考えさせる。 ・単元をこえて、考えるように全体に問いつける。	・発問を誰かにもう一度説明してもらう。

深める		音楽	美術	保健体育	技家
8	本当にそうなのか、問い返したり、なぜ〇〇なのに△△なのか、と矛盾点を挙げて問いつける。		・鑑賞などで観る所が同じでも、見方が違うなどの意見がないか問い返したりする。	・現代社会における課題に応じて、考えさせる。 ・保健の授業で得た知識を実生活にどう生かせるかを考えさせる。 ・今持っている自己の体力や技能を高めようとするために改善点を問いかけ、考えさせる。	・根拠を書けるワークシートの工夫 ・実習の場合、実物で比べる。 ・正解を言っても「なぜ、そう思うのか」と問い返す。
9	どちらの立場に賛成なのか、立場を明らかにして発表させる。	・2つの楽曲を比較鑑賞させ、相違点について、視点を明確にしながらか考えさせ、発表させる。	・授業中に出た多様な考えをもとに、まとめた感想を書かせ発表させることで、他と自分の考えを比較して、新たな意見を持たせる。	・社会で与えられる権利の中で健康問題や社会問題を含めて、自分の考えを持たせる。	・意見表示(見てわかるように)挙手、起立など

全体を通して		音楽	美術	保健体育	技家
10	生徒の発言を取り上げて、良いところを具体的に指摘し合わせた。教師が指摘したりして価値付ける。	・優れた演奏を取り上げ、どんなところが優れているのかを述べさせ、教師が補足する。	・教師が全体的に確認したい生徒の意見を意図的に発表させて、本時の授業に対して、それぞれに価値づけさせる。	・ダンスの授業で、他のグループの演技を見合い評価し合う。 ・生徒の発言や模範を取り上げて、生徒同士のアドバイスなどで技術の向上を図る。	・良い意見を記入している生徒を見取り、全体に広め共有する。 ・Googleのネットワーク共有ファイルで挙手が苦手な生徒の意見も共有し合えるようにした。